

『気まぐれ子猫』 寸評

- ・小さくて活発な毛むくじゃらの生き物がみえてくる
- ・リズムパターン、音域、役割 左手の工夫がめいっぱいなされている
- ・さまざまなレベルで緩急の変化が実現してある
- ・ハ長調をとびだす和音がもうちょいきこえてきたい
- ・タイトルも明快

完成度をさらに上げるために

- ・ m.1-2 のメロディパターンにアーティキュレーションをぜひつけたい



- ・ m.12 和声はやや平板 たとえば



- ・ m.12 b.1 右手の前打音 たいてい主要音と↑スラーでつなげてある
- ・ m.10-11 左手 スラーの中のテヌートは不要
- ・ m.12 ペダル記号とテヌート、フェルマータも意味が重複してしまう
- ・ m.3 b.3-4 左手 サブドミナントでありたい気もする



- ・ m.8 b.3-4 右手の休符は ♪ ♪ 各拍ごとにまとめよう

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

たいんよくできました。

持魔 勉